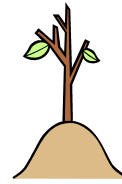


令和3年4月12日  
須恵小学校便り 1号

# 種蒔く人



感動創造

**今年度も、どうぞよろしく願いたします。**



タイトルを「感気持進」改め「種蒔く人」としました。生きるための種・喜びの種等をまくなど、感動体験創造学校を目指します。そのために今年度は、四つの「きょういく」に取り組みたいと思います。「学校は地域・保護者と共に児童を育む」「職員は協働して児童を育む」「職員は児童と響き合いながら児童を育む」「地域と学校で須恵（郷土）のよさや誇りを学ばせながら児童を育む」です。ご支援とご協力をどうぞよろしく願いたします。

今年度も、教育活動全体で児童へ下記の資質・能力を育てていきます。合言葉は「チャチャコース」で変わりませんが、チャレンジするには「先を見通す力」が、チェンジするには「自分を振り返る力」が、コラボレーションするには「人とつながる力」が必要と捉え、挑戦（やる）・向上（変わる）・協働（みんな）を具体化しました。一年間、職員全員で努力してまいります。

## 10人の新1年生が入学しました。

9日（金）は入学式でした。今年も、新型コロナウイルスの影響で、教育課長の出田茂様、及び新入学児童及び保護者の皆様、そして職員で実施しました。

どのお子さんも返事がとても上手で、感心しました。在校生は、6年生のみの参加です。職員一同、一人一人の笑顔を大切にしながら、地域の宝である子供たちの「生きる力」を育み、高めてまいります。本年度、須恵小は、児童59人で出発です。



## 緑の少年団の皆さんたち、本当にありがとう！

「人に喜んでいただくことが、自分の喜びである」ことを知れば、その人の人生はおのずと豊かになると信じます。私は現在、山江村に住んでいますが、先日うれしいことがありました。昨年度、緑の少年団で木製プランターを作製し、町内でお世話になっている事業所及び昨年の7月豪雨により避難を余儀なくされている仮設団地へ寄贈しました。その「令和3年2月19日 須恵小学校」と書いたプランターが「広報やまえ」で紹介されていました。人のために行動することを学んだ児童、指導した職員、取り上げてくださった山江村役場の方の心の温かさに感謝します。これからも、地域と児童がウィンウィン（互恵）の関係になるような教育活動を、学校全体で進めていきます。

※ 裏面に始業式での話を載せています。